

令和6年第8回教育委員会定例会 会議録

1 開催日時 令和6年8月21日（水）午後1時30分～午後2時00分

2 開催場所 春日井市役所9階 教育委員会室

3 出席者

【教育長】 児島 靖

【委員】 河合 香吏

【委員】 竹田 卓弘

【委員】 浅井 敦臣

【委員】 向 文緒

【事務局】 教育部長

いきがい創生部長

教育総務課長

同 担当主査

同 主任

学校教育課長

同 主幹

同 指導主事

同 課長補佐

学校給食課長

文化財課長

野外教育センター所長

同 主幹

いきがい推進課長

文化スポーツ振興課長

図書館長

森本 邦博

塚本 滋

中山 一徳

砂田 恭平

倉知 美香

前原 敦

梶田 英男

湯浅 公

山崎 俊介

加藤 純也

北野 将好

生倉 勉

坂野 年伸

大野 利重

田中 芳樹

四ツ倉 光一

4 議 題

(1) 春日井市教育委員会公印取扱規程の一部改正について

(2) 全国学力・学習状況調査の調査結果の取扱いについて

5 議事概要

教育長

本日の傍聴者なし。

教育長

春日井市教育委員会会議規則第6条第2項の規定により、会議録署名人は、河合委員を指定。

教育長
(報告事項)

学校の夏季休業もあと10日となった。立秋も過ぎ、明日22日は暑さが峠を越えて後退し始めると言われる「処暑」になる。暦の上では秋だが、猛暑日が連日続き、熱中症警戒アラートが毎日出るなど、まだまだ暑さには細心の注意が必要な状況が続いている。

36回目の小学生男鹿市交流学习を、昨年度参加校以外の19校の児童で、8月5日から7日の2泊3日の日程で行った。秋田の竿燈まつり見学、男鹿市長表敬訪問、その後、男鹿市の代表児童とともになまはげ体験、水族館見学などを行った。名古屋空港到着時に行った解散式では、どの子も充実した表情が見られた。28日には、総合福祉センターで報告会を行う。男鹿市からは、春日井まつりに合わせて10月18日から3日間の予定で、16名の児童が訪問する予定である。

夏季休業中の体育系の活動では、市大会、愛日大会、県大会、東海大会と勝ち進んだ個人・団体が、17日から北陸地方で開かれている全国大会に出場している。

- ・水泳競技 女子100M・女子200M 平泳ぎ（松原中3年）
男子400M メドレーリレー（中部中1年・3年）
女子400M フリーリレー（西部中3年）
- ・陸上競技 女子100M ハードル（柏原中3年）
女子砲丸投げ（高蔵寺中2年）
- ・バドミントン 男子シングルス（高蔵寺中3年）
男子ダブルス（石尾台中3年2人）
女子ダブルス（柏原中2年、南城中3年）
男子団体（石尾台中3年2人、南城中3年2人）

今年は例年より多く、合わせて13名が参加している。

文化系では、24日に三重県津市で行われる吹奏楽コンクール東海大会に西部中学校が出場する予定である。

今年度新たに、市内の中学生対象のイングリッシュキャンプを26日から1泊2日で少年自然の家で開催する。希望があった54名

が参加し、ALTとともに2日間英語のみで生活し、その中でチームビルディングやプレゼンテーションの作成を行う。また、現在、第73回市民美術展覧会が、市役所10階から12階と文化フォーラムギャラリーで行われている。今年度より、高校生の優れた作品に贈る「高校生奨励賞」を新たに設け、6名に授与している。

夏季休業中の教職員の研修は、44講座を開設した。その中で、8講座をオンデマンドとし、それぞれが自主研修に役立てることにしている。初任者研修や少経験者研修などを始め、1人1台端末の活用研修やGIGAスクール研修などICT関連の研修を多く行っている。

今年度は、9月2日から2学期が始まる。

教育長

1 議題

(1) 春日井市教育委員会公印取扱規程の一部改正について

教育総務課長

資料に基づき「春日井市教育委員会公印取扱規程の一部改正」について説明。

教育長

採決の結果、全員一致で「資料のとおり」決定。

教育長

(2) 全国学力・学習状況調査の調査結果の取扱いについて

学校教育課主幹

資料に基づき「全国学力・学習状況調査の調査結果の取扱い」について説明。

河合委員

テストの結果は、今後の参考資料にするということだが、活用し取り組んだ結果どうなったか、教育委員会は調査等行うのか。

学校教育課主幹

取組結果の調査は行っていない。毎年行っている「全国学力・学習状況調査」は、小学校6年生と中学校3年生を対象にした調査であるが、取組は全体に対して行うので、段々と成果が現れていくのではないかと思います。

河合委員

参考資料としてまとめた形式になるということでよいか。

学校教育課主幹	そのとおりである。 良かった点や力が足りない点を挙げ、力を上げるための取組を行っていく。
教育長	採決の結果、全員一致で「資料のとおり」決定。 ○参考資料について
向委員	15ページの7月事業報告だが、「自然大好き！野あそびくらぶ②」は5日（金）に実施をして、定員20人のところ参加者数は2人である。4歳以上だと保育園・幼稚園に通っている子も多いが、平日に開催したのは何か理由があるのか。近年、土日出勤の保護者もいるため、平日開催も悪くはないが、参加者が少ない状況が続くようであれば、見直しが必要と考える。
野外教育センター所長	幼稚園や保育園に通っている子でも平日は比較的参加しやすいということで平日に設定した。平日の開催については、今後分析・検討していく。
河合委員	小中学校の野外学習で、希望日が重複した場合、2校同時に実施することはあるのか。
野外教育センター所長	小中学校の野外学習の受け入れについては、1年前から調整を行っている。現在、市内の学校の令和7年度の受け入れについて調整しており、市外の学校については、2学期に調整を行う。希望日が重複した場合は調整し、1日1校の受け入れとしている。
浅井委員	市外の学校の受け入れは、愛知県と岐阜県のみか。
野外教育センター所長	要望があれば受け入れるが、愛知県と岐阜県以外の学校を受け入れた実績は今のところない。また、市内の小中学校は全て当施設を利用している。
向委員	9ページのスクールサイン投稿件数だが、7月分はまだ集計できていないということでしょうか。

学校教育課長	月末集計のため、1月遅れの報告となる。
河合委員	読書感想文コンクールの応募は、以前は必須だったと思うが、今は自由度が高くなり個人判断となっているところもある。そうすると、応募数が減少していると思うがどうか。
図書館長	読書感想文については、コロナ禍前は必須課題であり、16,000件程度の応募があったが、コロナ禍以降は自由参加となり、8,000件弱の応募となっている。
河合委員	思ったよりは減少していないと感じる。 全ての感想文を読んで審査しているということでしょうか。
図書館長	そのとおりである。

上記のとおり、議事の経過及びその結果を明確にするためにこの会議録を作成し、教育長及び指定された会議録署名人が署名する。

令和6年9月13日

教育長 児島 靖

署名人 河合 香吏